

「ゴルノ・バタフシャン自治州ヴァンジ郡ジョヴィドン村診療所建設計画」 引渡式

9月28日、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」によりゴルノ・バタフシャン自治州ヴァンジ郡に建設された診療所の引渡式が行われました。引渡式には、古田駐タジキスタン大使、ダウラトゾダ郡長、マフマドベコフ所長らが出席しました。

本計画で我が国政府が94,924米ドルをヴァンジ郡に供与し、新しい診療所が建設されたことにより、より安全な環境での医療サービスの提供が可能となるとともに、市民の医療サービスへのアクセスも改善されました。

古田大使は引渡式の挨拶で、保健・医療分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、ダウラトゾダ郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計468件、総額約3,890万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

